

**公表** 事業所における自己評価総括表

○事業所名	指定生活介護すてっぷ			
○利用者等評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月31日			
○利用者等価有効回答数	対象者数	14人	回答者数	14人
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和7年11月30日			
○従業者評価有効回答数	対象者数	9人	回答者数	9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること。※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	資格取得者の配置(介護福祉士、強度重度支援、作業療法士、心理士等)	利用者一人ひとりの特性を理解し、それに応じた支援を行っている。	利用者の特性に合わせた環境整備や、一人ひとりに寄り添った支援を行っている。
2	障害福祉のスペシャリスト(OT)への相談による支援の充実	来所時に利用者の状況を伝えて相談し指導を受けている。	指導を受けた事を支援に取り入れ、実践している。
3	小規模であり、家庭的である。	毎日利用の方も多く体調の把握がしやすい。何か変わりがあった時には、迅速な対応を心掛けている。	家族とコミュニケーションを図り、利用者の立場で考えるようにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること。※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの狭さや個室が不足している。	建物の天井が低く、大人の身体の大きい方々に対しては狭く感じられる。車椅子での移動も通路が狭く困難でトイレには車椅子が入れない。修繕や増築が必要になっている。	雨天時にも使用できるウッドデッキの改修や、車椅子で使用できるトイレや個室の増築等。
2	健康診断を実施することができていない。	利用者と一緒に受診が難しく、家族受診をしている方が多い。	血液検査などの希望の声も聴かれているので、今後検討して行く必要がある。